

新型コロナウイルス対策セミナー レジューメ(4/24)

※新型コロナウイルス対策情報ページ:<http://royalri.jp/news/1132/>

1. 対策方針

①対策方針の策定:

- ・方針は前向きに明るく！ピンチをチャンスに変える方針を。
- ・「コロナだから給与が下がる」ではなく、「コロナでも給与を〇割は補償する」という前向きな表現を。
- ・厚労省のチェックリスト活用

②社内への周知

- ・感染対策、業務制限、感染疑いの対応等をわかりやすく。

③社外への周知

- ・感染対策、出張・外出制限、会議のWEB化等を明言。
- ・早い段階で方針を明確化した方が活動しやすい。

2. 具体的な労務管理上の扱い

①厚労省 Q&A を活用すること。

②よくある質問

- ・都道府県知事の休業要請への対応⇒問2
- ・感染の疑いがある方への対応⇒4-3、4 自主休業は病欠、会社からの要請は休業
- ・緊急事態宣言や休業要請で休業する場合の対応⇒4-5, 6, 7 総合的に判断
⇒不可抗力とするには〇外部要因、〇休業会費の最大限の努力 が必要。
- ・外国人への適用⇒4-14, 15 もちろん適用。
- ・変形労働時間制⇒5-1 1 年単位、1 か月単位変形の活用。途中変更も可。
- ・健康診断・安全衛生委員会の延期⇒6-2・3 令和2年6月末までの間、延期可能
- ・労災の適用⇒7-1 適用可
- ・派遣の中途解約⇒9-2・3 金銭保証は契約の内容による。雇用の維持を図る必要。
- ・派遣労働者のテレワーク⇒9-4 派遣契約の一部変更(一般の雇用契約も同様)

3. テレワーク

①テレワークの効果(QA 集 3P)

- ・テレワークは感染症対策としても生産性向上策としても有効な手段！

②テレワーク導入(QA 集 5P)

- ・テレワーク導入手順表(QA 集を参考)
- ・労働時間の管理:勤怠システム+通常の労働時間 が推奨される。(QA 集 2-2)
- ・勤怠管理:クラウドシステムがお勧め(残業管理、時間集計、給与計算にも有効)

③テレワーク用の機器

- ・できるだけ統一したツールの方が管理しやすく従業員が覚えやすい。⇒office365

④助成金

- ・IT 導入補助金
- ・働き方改革推進支援助成金

4. 雇用調整助成金

- ・助成金の概要：
- ・特例⇒拡充(状況によっては今後も拡充の可能性あり)
- ・休業手当の割合:助成金を最大限活用できる割合⇒会社にとっても従業員にとっても良い。
- ・助成金額: 昨年の社員の給与総額÷社員数÷労働日数×休業手当率 で計算。
- ・休業手当の要件: 平均賃金の 6 割以上
⇒平均賃金=3 か月賃金÷3 か月の歴日数⇒実際の日割額より少ない

5. その他の助成金

- ・新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金
- ・持続化給付金
- ・IT 導入補助金
- ・働き方改革推進支援助成金
- ・各自治体の協力金(静岡県、各市町村)

6. その他

- ・厚生年金保険料の納付猶予
- ・労働保険料の納付猶予